

文部科学省のスーパーグローバル大学(SGU)創成支援事業に採択され、大学改革を推進する関西学院大学。1889年の創立以来、世界市民の育成を目指してきた同校にとって、今回の採択は、さらなるグローバル教育への飛躍となる。

一方、同じ神戸に拠点を置くグローバル企業のネスレ日本は、独自のイノベーションを成功させながら高い成長率を誇る。村田治学長とネスレ日本の高岡浩三社長が、変革を恐れず行動するマインドについて語り合った。

【グローバル対談】 常に変革を恐れず 行動するマインドが 豊かな社会を創る

村田 SGUとは、単なる国際化を目指すのではなく大学改革を伴うものであると認識しています。本学が目指しているのは、国際性豊かな学術交流の母港である「グローバル・アカデ



関西学院大学
村田 治 学長

むらた・おさむ 1980年関西学院大学経済学部卒業、同大学院経済学研究科博士課程単位取得、経済学博士。専門分野はマクロ経済学、経済循環論。教務部長、経済学部長などを経て、2014年より関西学院大学学長。主な著書に『現代日本の景気循環』(日本評論社)他

ミック・ポート」の構築です。例えば、海外の協定校に留学する学生や海外からの留学生を増やし、両者の交流を促進する。また、所属学部での学びに加え、留学やボランティア、イン



ネスレ日本
高岡浩三 代表取締役社長 兼 CEO

たかおか・こうぞう 1983年神戸大学経営学部卒業後、ネスレ日本入社。2010年より現職。「ネスカフェ」の新しいビジネスモデルの構築を通じて高利益率を実現。あらゆる部門にマーケティングを採用し、グローバルに通用する成熟先進国ビジネスモデルの構築に力を注ぐ

リスタ」で一杯分ずつ淹れる飲用スタイルも提案しています。ダブルチャレンジ制度で価値基準を身に付ける

村田 SGUのプログラムは、これまで本学が実施してきたことが基盤になっています。ダブルチャレンジ制度のインターナショナルプログラムはこれまでの留学プログラムが基盤にあり、ボランティアに関しても、国連ユースボランティアで10年間に延べ74人の学生を途上国に派遣してきた実績があります。彼らの多くは、社会に出てからもグローバルな舞台で活躍しています。また複数分野を学び、物事をさまざまな角度から見られる力を養うため、4年間に二つの学位を取得する制度も実施してきました。SGUのプログラムは、

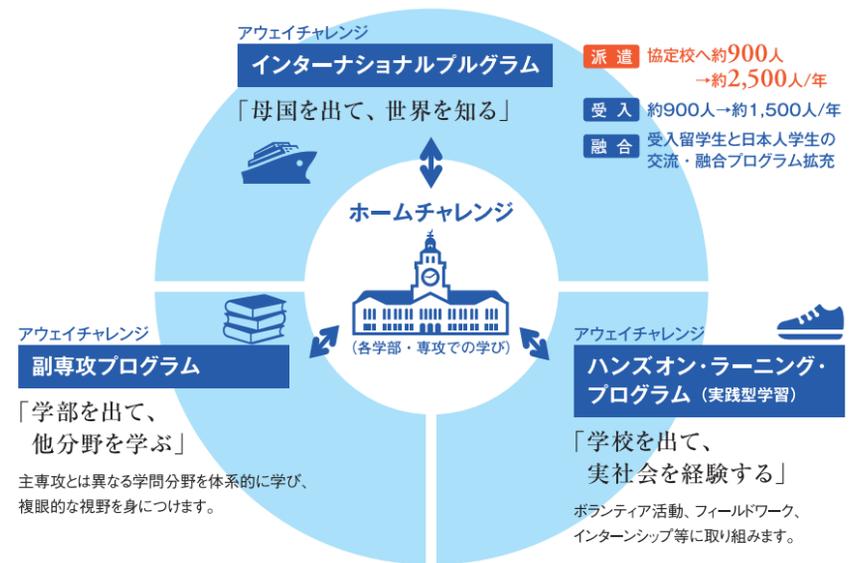
これまで実践してきたことを体系化し、強化したのと言えます。これらのプログラムを通して、学生たちに、複眼的な視野や、細分化した学問を統合する能力を身に付け、比較検討することで自分なりの価値基準を構築してほしい、という狙いがあります。さらに、考えるだけではなく積極的にチャレンジし、行動することの大切さも学んでほしいのです。

高岡 行動は大事ですね。弊社では2011年から「イノベーションアワード」を設け、1年に1回、全社員からアイデアとそれを実行した成果を募集しています。実際にこの中から、焼きキットカットや、カフェイン・シヨップなどのヒット商品やサービスが生まれました。重要なのは、失敗を恐れず小さ

ターニシップなど、二つ目の挑戦に取り組む「ダブルチャレンジ制度」を新設する。時代に
 応じて、大学も常に
 変革していくことが
 大切だと考えて
 います。

高岡 変革への意識を持つことは重要ですね。ネスレは世界中で事業を展開しているグローバル企業ですが、日本が先進国グループの中で高い成長率を誇っている理由の一つに、ネスカフェの代名詞でもあったインスタントコーヒーの歴史に終止符を打つという思い切った決断があります。新技術を導入した「レギュラソリュブルコーヒー」へと進化させ、

「ダブルチャレンジ制度」概要 (グローバル・アカデミック・ポート構想より抜粋)



わが校の グローバル人材育成戦略

キャンパス アイエヌジー

CAMPUSing

関西学院大学

Kwansei Gakuin University

なアイデアを実際に具現化すること。むしろイノベーションを生み出すためには、アイデアを出すこと以上に行動力が必要なのだと感じています。

村田 これからの学生に求められるのは、まさにそのイノベーション力、課題を発見し、解決する能力だと思っています。

高岡 日本人が不得手なのは、物事を深く突き詰めて考えることですね。私自身ネスレ日本に入社して、スイス本社から何万回と「なぜ？」という質問を受けてきました。当たり前と思うことでも、どうしてこうなっているのだろうか？と突き詰めて考えることで、次のビジネスチャンスが生まれてくる。先進国では特に、答えのない課題に答えを出していかなければならない。成長には常に変革というスピリッツが必要なのです。

**スクールモットーに基づいた
 全人教育を実践**

村田 関西学院大学では創立時から、宣教師たちを中心に国際性の基盤がつけられ、学部の垣根を越えた少人数教育と、「Mastery for Service」(奉仕のための練達)というスクールモットーに基づいたキリスト教主義の全人教育を実践してきま

した。最終的な目標は、新たなことにチャレンジする精神を持ち、地域社会や国際社会に貢献すること。大学はそのために自らを鍛錬する場所だと考えています。その意味で、学内の体制や文化を含め、本学は世界の大学と競争できる大学として成長してきたと自負しています。高岡社長はグローバル人材とはどのような人材だと思われませんか？

高岡 ひと言で言えば、グローバルスタンダードを知っている人間です。ただしグローバルスタンダードが常に正解であるとは限らない。例えば期間限定の商品などは、世界標準からすれば生産効率性の面から承認が得られないのですが、商品の入れ替えが激しい日本市場では正解となり、それが逆に世界に広がる商品となる可能性もある。世界を知った上でローカルライズできる人間こそが、グローバル人材なのだと考えています。

村田 神戸という共通の地盤から、世界へチャレンジできるのは心強い。大学と企業と立場は違っても、変革を通して豊かな社会を創造することに貢献していきたいですね。



ネスレ日本は、オフィスで「ネスカフェ ゴールドブレンドバリスタ」が無料で使用できるサービス「ネスカフェ アンバサダー」を考案し、大ヒット。経済性や利便性に加え、「職場内コミュニケーションの活性化」といったベネフィットが受け入れられている

大学データ

関西学院大学
 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155
 tel:0798-54-6017 (広報)
 http://www.kwansei.ac.jp/

●学部数	11学部
●学生数	学部学生数 23,022人 大学院生数 1,099人
●教員数	702人

(2014年5月)

